

各位

2016年10月7日
公益財団法人 日本英語検定協会
株式会社 EnglishCentral

日本英語検定協会とEnglishCentralが 実用英語技能検定の面接委員向け 英語力向上プログラムを共同開発

～面接委員のスキル向上に向けた仕組みの効率化を目指す～

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下「英検協会」）と株式会社 EnglishCentral（イングリッシュセントラル、代表取締役社長：松村弘典、所在地東京都台東区、以下「EC社」）は、このたび、実用英語技能検定の面接委員の英語力と発音力の向上を目的とした英語学習プログラム、「EnglishCentral for Eiken Examiners」を共同開発したことを発表いたします。

【背景】

昨今、大学入試において4技能資格検定試験の活用が拡大しており、実用英語技能検定の志願者数も年々増加しております。今年度（2016年度）第1回検定においても、高校生を中心に、特に2級以上の上位級の志願者数が大きな伸びを見せました。また、志願者数の増加だけでなく、一次試験の合格率も顕著に上がっており、受験者の英語力の向上が見てとれます。*

こうした一次試験の顕著な合格率の伸びから二次試験の受験者数が増え、それにより、実用英語技能検定の面接委員の人員確保が急務となっております。さらに、面接試験の品質を担保すべく、面接委員のスキル向上に向けた仕組みの効率化が必要な状況です。

このため、英検協会は、最新の音声認識技術を活用したオンライン英語学習プログラムを提供するEC社と共同で、面接委員の英語力と発音力の向上を目的とした英語学習プログラム「EnglishCentral for Eiken Examiners」を開発しました。

本プログラムを、新たに登録いただいた面接委員の発音練習とスキル向上に活用いただくことで、面接試験の品質担保を図ってまいります。

※ 2016年度第1回検定 受験者数・合格率速報 http://www.eiken.or.jp/eiken/info/2016/pdf/20160729_pressrelease_passrate.pdf

【英検協会がEC社を選定した理由】

EnglishCentralは、1万本以上の動画を活用した英語学習体験と、2億6000万パターンのデータサンプルを解析の上、発話の結果を的確に評価し、自身では気づきにくい発音の違いを、会話の中の発音・文節の区切り・聞き取りの可否などに分けて視覚的に理解できるよう設計されたサービスです。

英検協会は、この動画を活用した英語学習体験と、最新の音声認識技術を組み合わせたプログラムの高い技術力を評価しています。さらに、当該プログラムが、世界中で200万人ものユーザー数を確保し、第12回日本e-learning大賞においても「総務大臣賞」を受賞するなど、高評価を得ていることにも着目いたしました。

以下、本プログラム「EnglishCentral for Eiken Examiners」の主な特徴についてご説明申し上げます。



【「EnglishCentral for Eiken Examiners」の主な特徴】

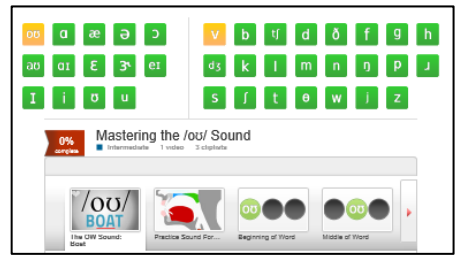
- ・10,000を超えるグローバルなジャンルの動画から、実用英語技能検定 二次試験で多く取り上げられるテーマの動画を厳選し、利用者はその動画から発音練習ができます。
- ・オリジナルで開発した英検模擬面接も含まれており、二次試験の形式に即した練習が可能です。
- ・こうした動画による英語学習と音声認識技術による発音のリアルタイム診断（6段階の成績評価）がオンライン上で可能です。
- ・隙間時間で継続学習が可能です。
- ・パソコン、スマートフォンから、いつでも・どこでも学習ができます。
- ・繰り返し利用することで、英語力および発音を磨くことができます。



<例：動画によるリアルタイム診断 >



<例：英検模擬面接での練習 >



<例：発音記号単位で弱みを把握 >

本プログラムは当面、新たに登録された面接委員へ優先的に提供し、すでに活躍いただいている面接委員にも、徐々に提供範囲を拡大していく予定です。英検協会では、今後とも、厳正公平な実用英語技能検定の実施を行うと共に、より高品質なサービスのご提供に努めてまいります。



■公益財団法人 日本英語検定協会について

公益財団法人 日本英語検定協会は、「実用英語の普及と向上」を目的に1963年に設立されました。以来、実用英語技能検定の実施・運営のほか、児童向けの「英検jr.（旧・児童英検）」やビジネスパーソン向け英語能力テスト「BULATS（ブラッツ）」、留学・海外移住のための英語運用能力試験である「IELTS（アイエルツ）」、大学入試に対応した4技能型アカデミック英語能力判定テスト「TEAP（ティーブ）」、さらには英語教育に関する優秀な研究企画に助成金を交付する「英検研究助成」制度など、実用英語の普及・向上に向けた様々な取り組みを展開しています。2012年4月、内閣府からの認定書交付を受けて正式な団体名称を「公益財団法人日本英語検定協会」に改めています。

英検協会ウェブサイト：<http://www.eiken.or.jp/>

■株式会社 EnglishCentral について

『EnglishCentral』は、英語学習の基本である「聞く」「読む」「話す」が効果的に学習できるよう、教育学、脳科学、音声科学など最先端の研究をもとに Google 社の投資子会社である Google Ventures 社の投資を受けてアメリカで開発され、1万本を超える動画コンテンツとオンライン英会話を組み合わせた総合英語学習サービスです。グーグルのグループ会社として培った技術と音声認識テクノロジーによる発音診断により日本人が苦手意識を持つ発音練習を効果的に行うことができます。現在200以上の日本国内大学で利用されており、ユーザー数は世界中で200万人以上。2017年から高校検定教科書デジタル教材としても日本全国で利用が開始されます。

『EnglishCentral』パソコン版 <http://ja.englishcentral.com>

『EnglishCentral』スマートフォン版 「EnglishCentral」でストア検索して無料ダウンロード